



# はちもり

八峰町立八森小学校

目指す子ども像

- ①よさを伸ばし合う子ども
- ②つながりを大切にする子ども
- ③自らとふるさとを拓く子ども



校訓：海のように 波のように 岩のように

令和7年1月24日(金) 第35号 文責：安部 晃幸



## 次の学校、学年を見据えて

3学期が始まり、2週間が経ちます。それぞれの学年が次への学校、学年を見据えた取組を進めています。

現在、6年生は卒業文集づくりの真っ最中です。いよいよ大詰めのように、真剣に取り組む姿が見られました。

5年生は「6年生ありがとう集会」に向けて、各役割に分かれて準備をしています。この後、次期リーダーの5年生が中心となって、全校体制で集会の準備を進めていくことになります。

それぞれの立場で、様々な人に感謝の気持ちをもつことが、自分自身の次年度へのやる気を引き出す原動力にもなるはずですよ。



文集づくりの6年生



集会準備の5年生



## 今週の1枚

てドが、い、に、ま、し、た。元、気、な、声、が、響、き、渡、っ、た。雪、に、足、を、取、ら、れ、倒、す。走、り、な、が、ら、は、風、を、あ、げ、て。子、ど、も、あ、い、な、く、思、い、っ、き、り。が、稲、や、か、な、天、候、で、し、た。出、て、あ、げ、を、し、て、楽、し、み、ま、し、た。一、年、生、が、グ、ラ、ウ、ン、ド、に、作、っ、た。



## 県学習状況調査の結果 (令和6年12月実施)



### 【各教科調査結果】

	国語	社会	算数	理科
4年生	○	△	◎	○
5年生	○	○	◎	◎
6年生	◎	◎	◎	◎

◎県比較10%上 ○県比較0~10%上  
△県比較0~5%下 ▲県比較6~10%下

### 【児童質問紙回答状況】

- 質問「勉強が好きだ」「勉強は大切だ」「地域のためになる活動に進んで取り組みたい」の肯定的回答の割合が、どの学年も県平均を上回りました。
- 質問「学校の勉強がよく分かる」「自分にはよいところがあると思う」の肯定的回答の割合は、昨年度の4年生(現5年生)が県平均を下回っていましたが、今年度はどの学年も県平均を上回っています。

◇5年生と6年生は、昨年度と比較すると大きく伸びています。課題を洗い出して、その改善に向けて取り組んでまいります。

## 2月の主な行事

- 3日(月) ネームデー
- 4日(火) 百マス計算大会(かけ算)  
\*1年生はたし算
- 5日(水) 2年算数科授業研究会
- 6日(木) 1・2年豆まき集会  
なわとび集会
- 7日(金) 児童集会
- 10日(月) 学習強調週間(～14日)
- 11日(火) 建国記念の日

- 13日(木) 避難訓練  
1年百マス計算大会(ひき算)
- 17日(月) 辞書引きコンクール週間(～20日)
- 21日(金) 学年末PTA
- 23日(日) 天皇誕生日
- 24日(月) 振替休日
- 25日(火) かもめ読み聞かせ(最終)
- 26日(水) 活動委員会
- 27日(木) 6年生ありがとう集会
- 28日(金) 登校班長会  
卒業式全体練習I



## 授業の様子から



### 【1年】道徳

サバナに住む同年代の子どもが、家族の一員として働いていることを知り、家族との関わり方や自分の在り方について考えました。

### 【2年】書写

字を書くときに注意することを全員で考え、字の中心と大きさに気を付けながら、フェルトペンと鉛筆で字を書いています。



### 【3年】体育

1分間で何回なわとびを跳べるか、お互いに数え合っています。150回以上跳ぶことができる児童もいました。すごい！

### 【4年】図工

透明容器を切ったり、折ったりしてランプを作り、それに色セロファンなどを貼り合わせています。どんな光の色を表現できるでしょうか。



### 【5年】社会

番組をつくる放送局について話し合い、学習問題をつくっています。様々な視点から、疑問に思うことを発言していました。

### 【6年】音楽

『メヌエット』をリコーダーで演奏しています。「井ソ」の運指に気を付けながら、気持ち合わせた演奏に取り組んでいました。

しかし、あいさつは、自分の心を開いて相手の心に近づく積極的な行為です。相手が自分に気付いていなくても、掛けることができるあいさつこそ、「本物」のような気がします。

子どもたちは学校以外の生活の場で、農作業をしたり、家事をしたりする人の前を通り過ぎることがあると思います。そのような場面で、相手をねぎらう気持ちを、「こんにちは」、「おつかれさまです」というあいさつに表すことができれば、心の交流も広がり、地域を元気にすることにつながるのではないかと思います。

思いがけない背中越しのあいさつは、自分の存在を認めてもらったようで嬉しいものでした。「今日も一日がんばるぞ!」という「やる気」を、私の体の中に注入してくれました。私も相手に負けないくらいの元気なあいさつを返しました。

## つばき 背中を受けたあいさつ

雪の朝、学校の玄関付近を雪寄せしていると、背中に「おはようございます。」と、元気なあいさつを受けました。顔を上げ、振り返ると、私から少し距離を置いたところに、2年生の児童の姿がありました。

あいさつは「相手の顔を見て」とか、「目を合わせて」といわれます。しかし、相手が何か作業をしていて対面できない場合もよくあるものです。そんなとき、背中越しにあいさつするのは、なかなか勇気がいることかもしれません。

